

# オール電化病院へ最後の障壁を解消した、環境に優しい商品「スチームセル/蓄熱式蒸気発生装置」の開発

## サクラ精機(株)における滅菌装置の歩み

宮坂 隆美 (みやさか たかみ) サクラ精機株式会社 洗浄滅菌事業本部 副本部長

**要約** 日本では国民健康保険制度が整備されており、私達（患者）が長い待ち時間が苦にならなければ、殆どの大学/大病院、有名病院等に自由に診察を受けに行けますが、そういう国は他にはありません。アメリカでは約7,000万の人々が健康保険に入っていないし、先進国の多くは自分の住む地域の開業医（ホームドクター）に掛かり、その医師が紹介状を書かない限り上位の病院へは行けません。国内では特に産婦人科、救命緊急医療センターや、小児科、麻酔科等での医師不足等が騒がれていますが、決して国内の医師不足ではありません。何故ならば医科系大学が81校、歯科（口腔外科含）系大学が23校あり全体的に医師数は増加傾向です。ただ、近年では医師免許合格者の約30%が女性です、同業（医者）者と結婚する機会が多い女医さんが、産休や子育てで休暇に入っているかも知れませんし、高利益/リスクレスの診療科（開業医含）の増、国立大学の独立法人化/研修医制度の歪、過疎地勤務義務がある医科大学卒の医者の拒否等から、医療インフラは都市部に集中し、地方で欠落（陥）している「医師の偏在」が現状です。例としては公立病院973の内約74%の721病院が赤字経営で、これら公立病院の閉鎖が地方特に過疎地で大きな問題になっています。反面、歯科医院は平成20年度で約67,000施設もあり過当競争の業界です。何故ならばコンビニが約55,000店舗あり何所でも目にしますが、コンビニ以上ある歯科医院の一部には「集客」に苦勞しています。本稿では弊社が関係する医療関連機器の内、特に「蒸気滅菌装置関連」を中心に、オール電化病院には欠かせない「スチームセル/蓄熱式蒸気発生装置」を紹介します。※「スチームセル」はサクラブランド商品名で意匠登録済みです。又、「蓄熱装置+蒸気発生装置+滅菌装置のセット」で包括特許を取得しています。

### 1. 会社概要説明

昨年、平成20年10月賛助会員として入会しました、「サクラ精機株式会社」です。

今後とも皆様からご指導ご鞭撻宜しく願っています。最初に弊社「サクラ精機」の概略及び商品群を紹介いたします。サクラの前身は大阪（泉州）堺で江戸時代前より「鯛屋・いわしや」の屋号で薬（業）種を行っていました。その後、江戸初期に東京日本橋へ移り、薬種と医療器材の併売を行っていました（図1）。時代の流れで明治4年に医療器械店「いわしや松本儀兵衛店、のちのサクラ」を創業し、大正6年に製造部門「松本製作所、のちの千代田製作所」を東京本所に設立し、医療機（具）材の販売はサクラ、製造は千代田製作所で進める

中、昭和20年、サクラ、千代田製作所が東京大空襲で供に焼け出された頃、長野市松代地区の現在の地震観測所を中心に大本営（図2最高統帥機関・皇族・政府機関・通信隊・印刷局等）を新設する関係から、軍の命令書により屋代駅近くの千曲市小島地区に疎開し工場を立ち上げて終戦を迎えました。戦後、販社機能が東京へ戻り販売を行い、千代田製作所は地元企業として医療機器、その応用技術商品の製造・開発・サービス・一部地区の販売等を半世紀以上に渡り分担してきました。4年前の平成17年（2005年）10月1日に販社（サクラ）と製造（千代田製作所）間で、製販合併を行い新生「サクラ精機株式会社」が誕生いたしました。その他グループ会社（SEC<サービス・据付>、SFG<病理関連販社3社日本・USA・EU>、SINAC<海外向け販売>、SHS<医療業務委託>、SSI<製薬・食品販社>、SSP<シス